

NEWS

頤椎人工椎間板置換術 第1例目 大成功！

平成30年9月2日

国際医療福祉大学三田病院では、平成30年8月に第1例目となる頤椎人工椎間板置換術(ジンマーバイオメット社製・Mobi-C®)が実施され、大成功に終わりました(図1、2)。

頤椎人工椎間板置換術は、平成29年度に本邦で承認された新しい手術法です。副院長で脊椎脊髄センター長・整形外科部長の石井は、平成25年度次世代医療機器評価指標作成事業 脊椎インプラント分野 審査ワーキンググループと平成28年度新医療機器使用要件等基準策定事業 頤椎人工椎間板置換術に対する使用基準作成ワーキンググループに参画し、本邦への導入に尽力してきました。

現在は厚生労働省の認定を受けた三田病院を含む全国18施設でのみ実施可能な手術です。頤椎椎間板ヘルニア・頤椎症性神経根症・頤椎症性脊髄症といった疾患に対してこれまで行われていた前方固定術は、症状は改善するものの脊椎間の動きを固定してしまうため、その運動機能が失われる宿命がありました。しかし頤椎人工椎間板ではこの運動機能を温存することができるため、非常に画期的な治療であると言えます。

頤椎人工椎間板置換術は国外では10年以上前から行われており、その良好な長期成績も報告されていることから、今後本邦でも広く普及される事が期待されている術式です。全ての方に手術の適応があるわけではありませんが、頤椎の手術をすすめられている患者様はぜひ一度ご相談ください。



図1 頤椎人工椎間板インプラント
(Mobi-C®)

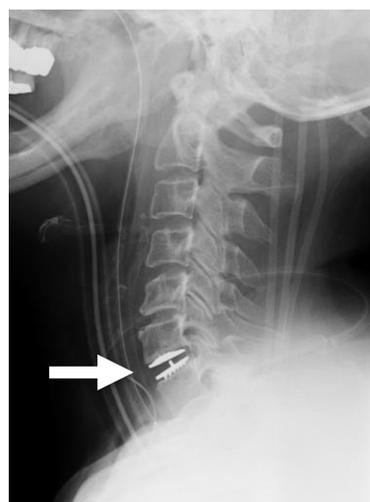


図2 頤椎人工椎間板置換術のX線写真(矢印)

文責 脊椎脊髄センター 磯貝宜広